

「だいち2号」観測データの干渉解析による西之島の地殻変動

火砕丘の北側から東側にかけて溶岩の堆積等によるとみられる非干渉領域（砂目模様の場所）が見られ、北側、北東側及び東側で海岸線に達しています。また、火砕丘の北側から東側にわたる広い範囲で、堆積した溶岩の経時変化等によるとみられる複雑な変動が見られます（図1）。

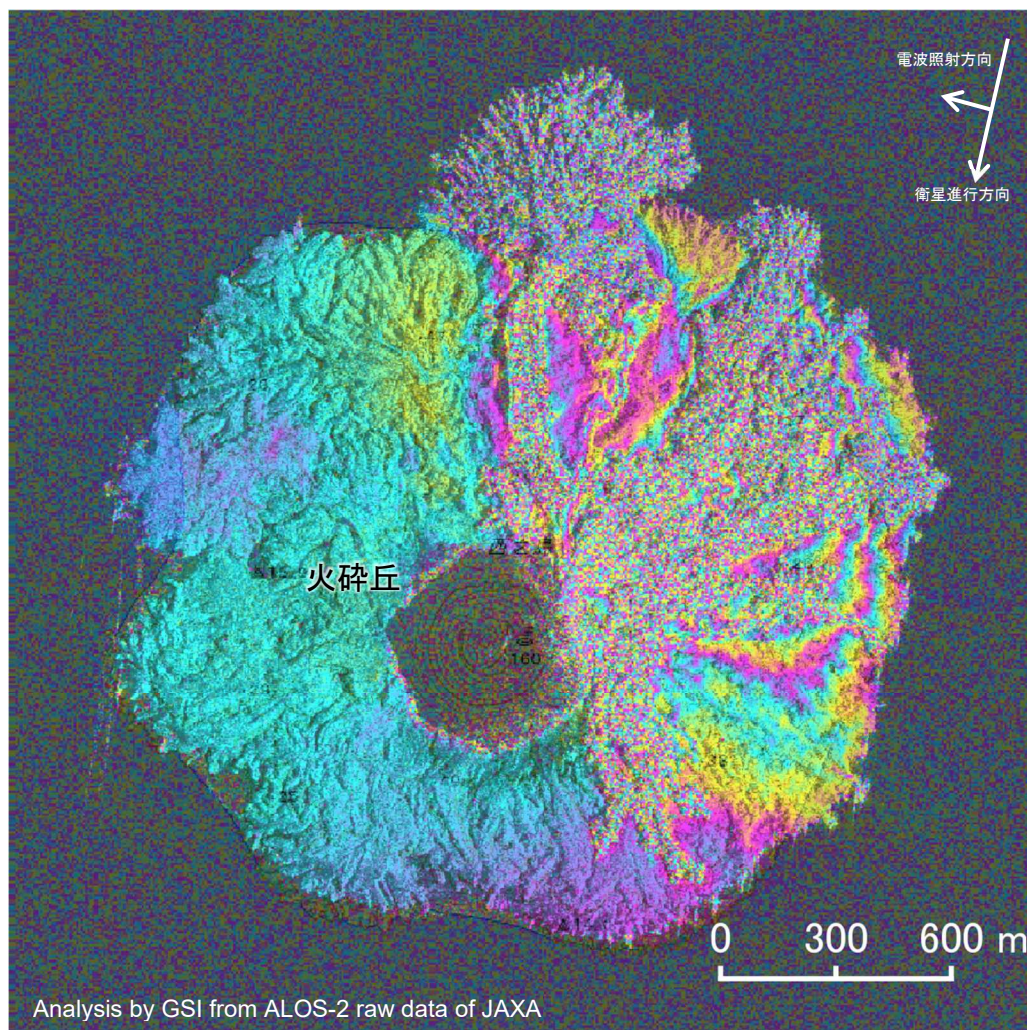
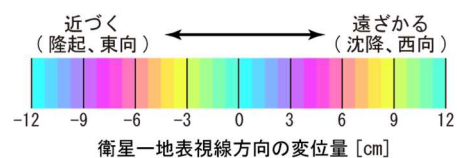


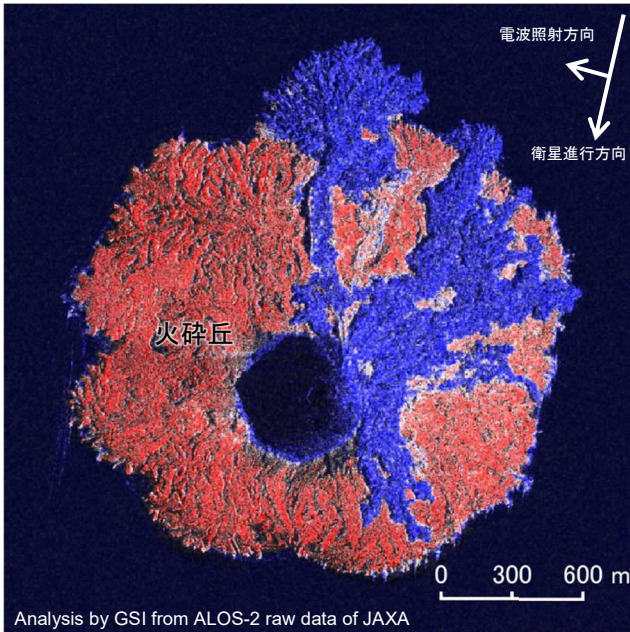
図1 2020年3月27日～2020年4月24日 11:18 衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

※背景は4月24日の強度画像

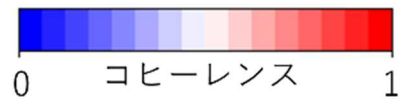


「だいち2号」観測データの画像による西之島の地形変化

火砕丘の北側から東側にかけて溶岩等によるとみられる地形変化が見られます（図2）。また、火砕丘の北側、北東側及び東側で溶岩等によるとみられる海岸線の変化が見られます（図3、図4）。



（※背景は4月24日の強度画像）



*コヒーレンス（干渉性）が低い箇所を青色で示す

図2 顕著な地形変化が見られた箇所*（青色）2020年3月27日～2020年4月24日 11:18

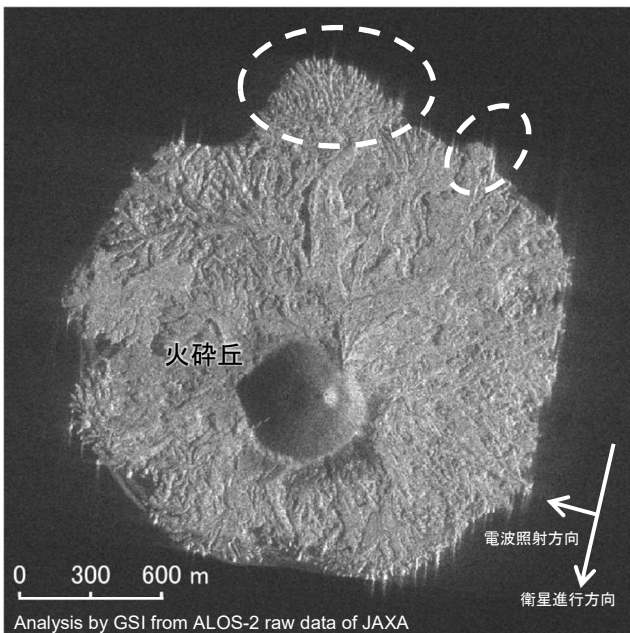


図3 2020年3月27日 11:18
衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

（※海岸線の変化部分は、図3、図4の白破線）

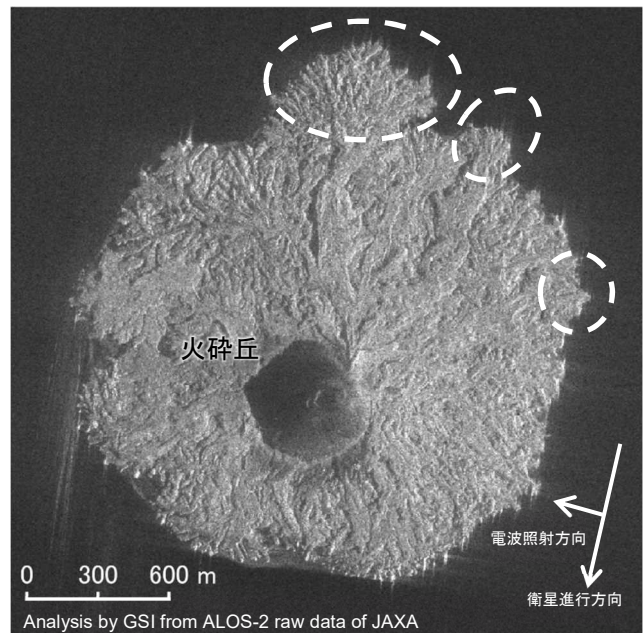


図4 2020年4月24日 11:18
衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°